令和６年度羽田中学校だより

天空の橋

令和６年１０月４日

目指す生徒像・・・
Heart
Never Give Up
Do Our Best
大田区立羽田中学校

羽田中学校の他にはない特色

９月２８日、令和７年度新入生向けの保護者説明会がありました。入学に当たってのものではなく、「羽田中学校がどのような学校か」を説明する会です。そこで話をさせてもらった「羽田中学校の他にはない特色」を学校だよりでも紹介します。中学校の選択を考えている小学生の保護者の方がいらっしゃったらぜひお伝えください。

◎ 快適にすごせる環境施設

羽田中は教室だけでなく、体育館から廊下にいたるまで全館冷暖房完備です。それだけでなく、ロスナイ喚起システムにより空気を入れ替えても熱はそのまま保たれます。一度冷房で冷やしてしまえば、しばらくはその温度が保たれます。そのため、真夏にまだ冷房を入れていない朝から、校舎内は涼しくなっています。また、１２年目ですが施設はまだきれいです。トイレも嫌な匂い等がまったくありません。ランチルーム、オープンスペース、武道場、学年室など生徒の活動が十分にできる場も保証されています。中学校生活の３年間が快適にすごせることが保証されている学校です。

◎ 生徒に寄り添った指導

授業中、基本的に廊下に一人は教員がいます。そして、授業を見守っています。学習が難しそうなとき、困っている生徒がいるときには、教室に入り支援をします。休み時間も廊下で教員は生徒と会話をしており、他の中学校より生徒の困りごと、悩み事の発見は早くできています。学習面でも、数学・英語は一つのクラスを二つに分けて少人数授業をしている（多くの学校は二クラスを三つに分けている）ため、１２～１８名での本当に少人数での授業ができています。また、放課後の希望者への学習教室も基本毎日開かれています。「教室に行くのがつらい」「学校に行くのがつらい」という生徒のためには、〝とまり木〟という居場所もつくられています。「見捨てない！あきらめない！」指導が羽田中学校です。

◎ 地域に根ざした教育活動

地域の絆が強い羽田糀谷地区の学校です。地域の町会や青少年対策委員会のご協力で、多くの活動が行われています。羽田神社のお祭りや、糀谷地区の祭礼のお手伝いなど地域のために生徒が活動するボランティアが盛んに行われており、地域とともに社会に貢献する生徒を育てています。南海トラフ地震や首都圏直下型地震の発生が危惧されている中、都営団地自治会や出張所の協力で、防災活動拠点訓練も行っています。今年度は、１年生が各種防災活動体験、２年生が避難所運営ゲームを行う予定です。来年度以降は、防災デーとして学校全体で地域とともに防災を考えていきたいと思っています。今年度中には、コミュニティスクールとして学校の運営自体を地域や保護者とともに考える体制に移行していきます。

◎ おおた国際教育推進校

今年度から、羽田中学校は「おおた国際教育推進校」となりました。国際的視野をもち、活躍できる人物を育てる教育をする学校です。重要なことは、世界で起こっていることを自分ごととして考える姿勢です。そのために、まず自分の属する社会において、自分ごととして社会を考えていく教育を行っ

ていきます。また、国際的に活躍するスキルや、国際的な文化を学ぶベースとしての英語学習（ＯＧＣ；おおたグローバルコミュニケーション）に力を入れていきます。英語の授業のおいては、全ての学年の全ての授業においてＡＬＴ（外国語指導助手）のネイティブスピーカーが入っています。これは、ほとんどの私立中学校にもない厚い授業の体制です。１学期には、ＴＧＧ（東京グローバルゲートウェイ）という東京都がつくっている英語を学ぶ施設での体験を公費で行いました。７～８名に一人のネイティブスピーカーが付き、英語を使って学ぶ活動や、ホテルや飛行機内などを模した場所での英会話の体験をします。「英語が好きではない」と考えていた生徒も、全員が「楽しかった」と答えるような体験です。来年には、校内に海外を模したシュミレーションができるＯＧＣルームが設置され、ＴＧＧで学ぶような学習が校内でできるようになります。勉強はまず、学習することが楽しいと感じなければ続きません。そういった楽しく学べる英語の授業を行っていきます。

◎ 生徒自身が主人公となり学校をつくっていく生徒会活動

「自分ごととして社会を考えていく教育」の一環として、生徒会活動に力を入れていきます。

今年度から、生徒総会の形式を変え、学校の中での自分たちの課題を自分たちで考えるものとしていきます。このような生徒総会は、現在の中学校ではなかなかできなくなってしまっているものです。「自分たちのことを自分たちで考え、社会を形成していく」これができれば、地域社会の担い手として羽田中の生徒が活躍してくれるはずです。また、校則等も生徒が参画して検討していく体制をつくっていきます。コミュニティスクールとして、自分たちの意見を言える場をつくります。学校の運営は、生徒が決めるものではありませんが、「こども基本法」に明記されている生徒の意見表明権を保証していく学校にしていきます。

◎ その他の特色のある活動

☆特別授業

２８日の午前中は東大の先生が特別講義をしてくれました。それ以外にも、弁護士によるいじめの授業、プロジェクトアドベンチャー、地域の方にお願いしての職業講話（羽ばたきプロジェクト）など多くの特別授業を行っています。

☆飛行機を使った修学旅行

羽田空港を学区域として抱える羽田中らしく、来年度から飛行機を使った修学旅行を行います。令和７年度は北海道、令和８年度は長崎に行く予定です。（新入生をどうするかは、入学された後、教員と保護者で検討します）

☆ＰＴＡによる放課後見守りボランティア

職員会議がある日に部活動などがあるとき、多くの中学校では一度帰宅してから再度学校に来る「再登校」を行っています。監督できない状態では学校内に生徒を残せないからです。どの学校でも再登校は「やめてほしい」という保護者の要望が強いけれど、なくせない状態です。羽田中では、昨年度から会議日に生徒を校内に残した上で、生徒を見守っていただく体制をつくっています。ＰＴＡのご協力のおかげです。特に真夏の暑い日に、下校しなくてもよいのは非常にありがたいと思っています。

☆おいしい給食

最後に、羽田中の給食が美味しいことを宣伝しておきます。リクエスト給食や、海外の国のメニュー、先生の出身地の名物メニューなども行われていて、生徒の毎日の残滓はほぼゼロです。３年間すごす学校での給食が美味しいのは、重要なことだと思います。

１，２年生の美術を担当しています教諭ですが、９月から諸事情により、本校に勤務していません。今後、美術の教員が決まりしだい授業を再開する予定です。ご迷惑をおかけしますがよろしくお願いします。